

運用経過のご報告

2026年1月～2026年3月

ブランディワイン米国債券戦略ファンド
(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信 / 海外 / 債券



ファンドのポイント

1 米ドル建ての信用力の高い債券に投資します

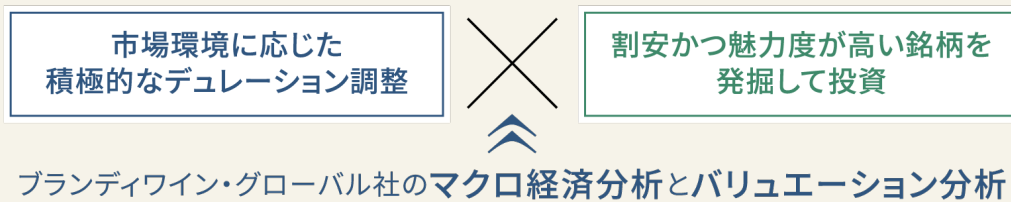
- 米国国債、政府関連債、住宅ローン担保証券、投資適格社債を中心に、米ドル建ての債券に投資します。
- 投資対象となる債券の格付はBBB一格相当以上（投資適格格付）とします。

当資料での格付表記はS&P社を基にしています。

2 積極的なデュレーション調整と、投資機会を捉えたバリュー投資を通じて収益獲得を目指します

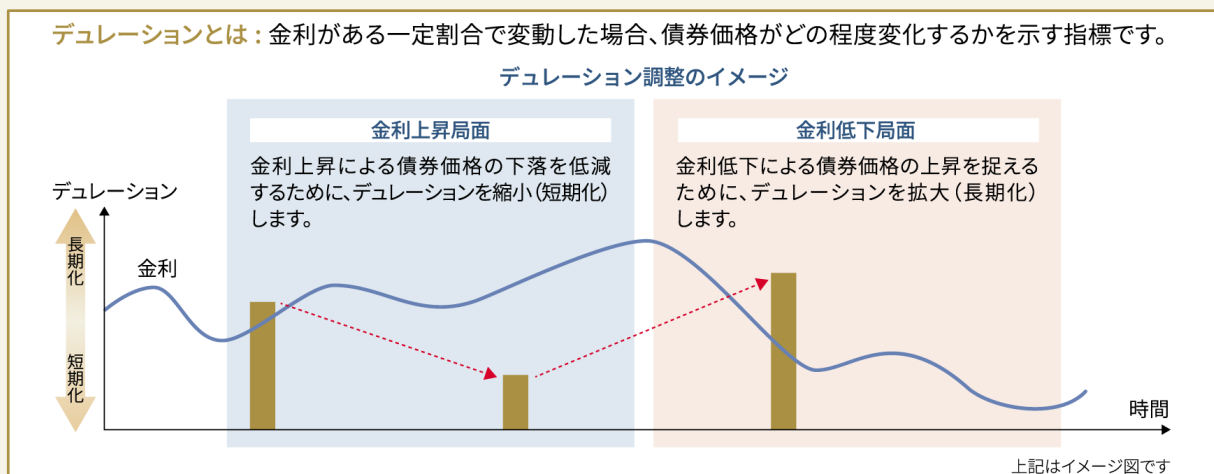
ブランディワイン・グローバル社におけるバリュー投資とは、本質的価値と比較して割安かつ魅力度の高い銘柄への投資のことをさします。

- ブランディワイン・グローバル社によるマクロ経済分析とバリュエーション分析を活用します。



市場環境に応じた積極的なデュレーション調整

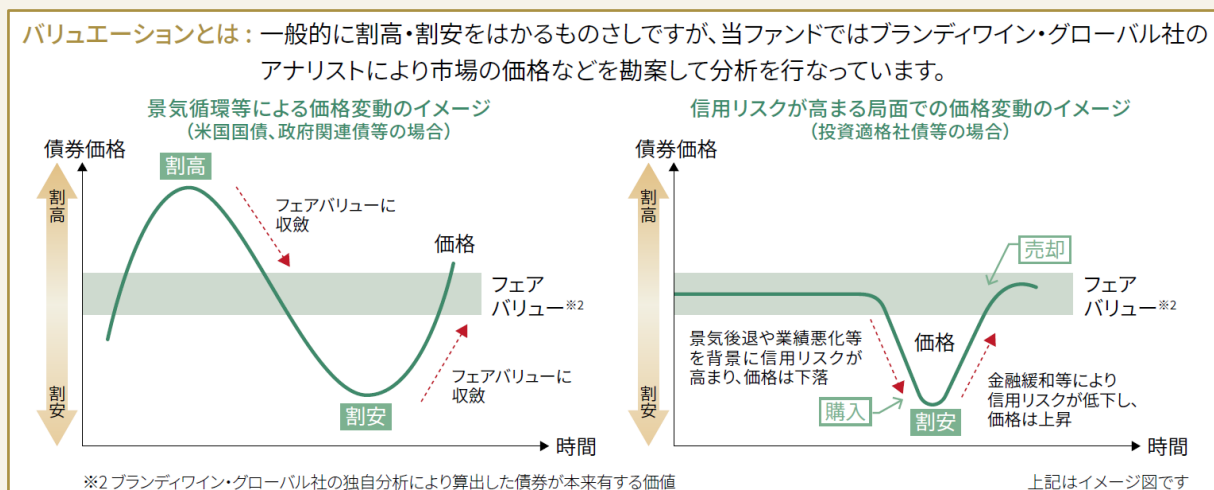
市場環境に応じてデュレーションを積極的に調整することで金利変化に柔軟に対応します。



割安かつ魅力度が高い銘柄を発掘して投資

割安かつ魅力度の高い銘柄を発掘して投資※1します。例えば、金融危機等の信用リスクが高まる局面では、バリュエーションが魅力的になった投資適格社債への投資を積極的かつ機動的に引き上げます。

※1 ブランディワイン・グローバル社におけるバリュー投資



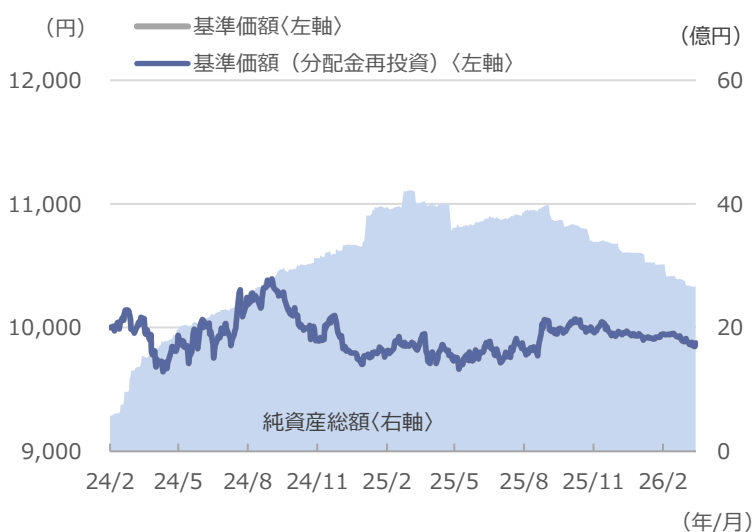
資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ファンドの運用実績

設定日（2024年2月16日）以降2026年3月31日までのパフォーマンスは、ブランディワイン米国債券戦略ファンド（為替ヘッジあり）は-1.3%となり、ブランディワイン米国債券戦略ファンド（為替ヘッジなし）は+15.5%となりました。

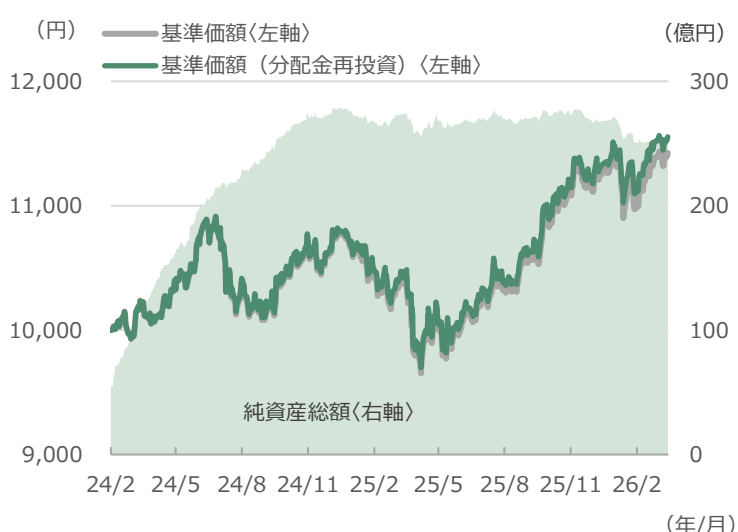
基準価額と純資産総額の推移

ブランディワイン米国債券戦略ファンド
（為替ヘッジあり）



「為替ヘッジあり」は分配実績がありません。

ブランディワイン米国債券戦略ファンド
（為替ヘッジなし）

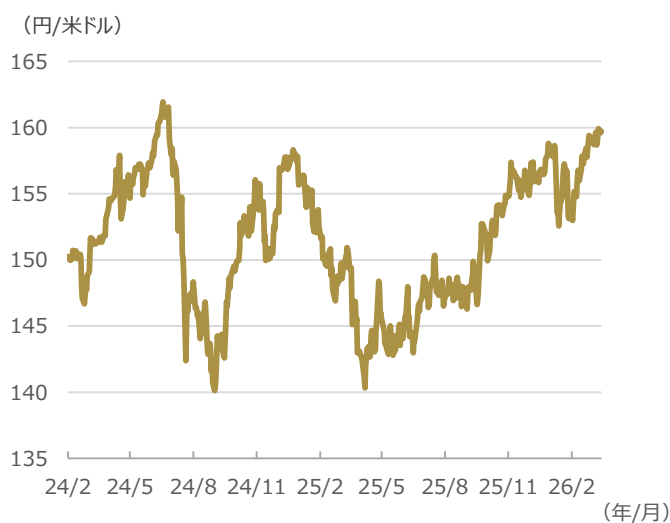


基準価額（分配金再投資）の 期間別騰落率

	1か月	3か月	6か月	設定来
為替ヘッジあり	-0.8%	-1.0%	-1.1%	-1.3%
為替ヘッジなし	2.0%	2.0%	7.9%	15.5%

騰落率の各計算期間は、2026年3月31日から過去に遡った期間としています。

<ご参考> 米ドル（対円）レートの推移



（出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

期間：2024年2月16日（設定日）～2026年3月31日、日次

基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

米国債券市場の足元の投資環境

【2026年1月】

米国10年国債利回りは、上旬は横ばいで推移したものの、中旬はイランに関連した地政学的リスクの高まりへの警戒感などから利回りが低下（価格は上昇）する局面がありました。その後、トランプ米大統領の発言により次期FRB（米連邦準備制度理事会）議長にハセット氏が選出される可能性が低くなったことで積極的な利下げ観測が後退したことなどを受けて、利回りは上昇（価格は下落）しました。

【2026年2月】

米国10年国債利回りは、前半は1月の米CPI（消費者物価指数）の伸びが市場予想を下回り、追加利下げ観測が高まったことなどから、利回りが低下（価格は上昇）しました。後半は米連邦最高裁判所が相互関税などを違憲とする判決を下し、関税還付や財政を巡る不透明感が意識されたことで利回りが上昇（価格は下落）する局面がありましたが、イラン情勢の緊迫によるリスク回避姿勢の高まりなどを受けて、利回りは低下（価格は上昇）しました。

【2026年3月】

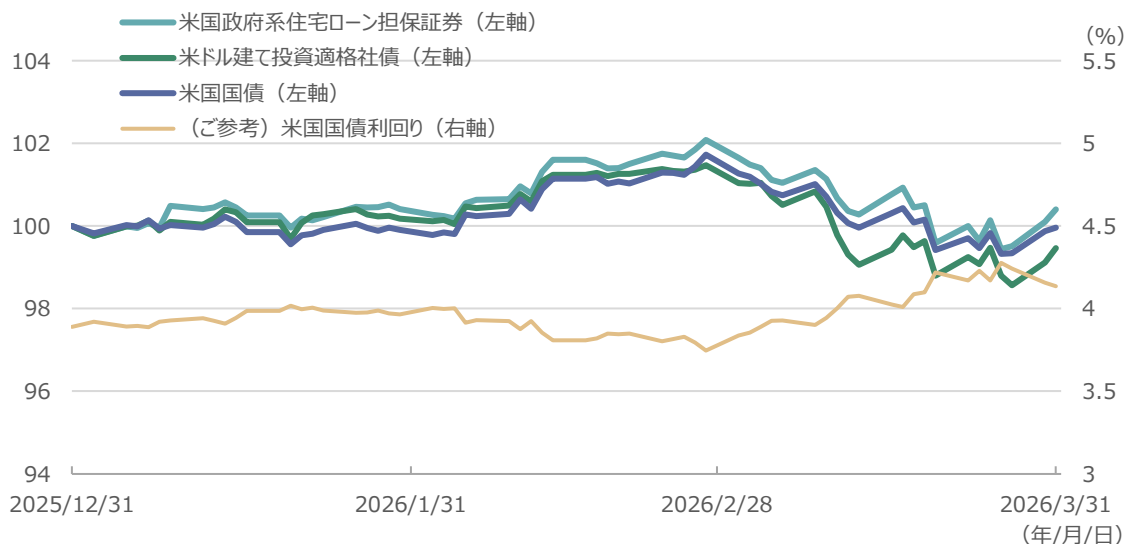
米国10年国債利回りは、上旬は前月末に米国とイスラエルがイランを軍事攻撃し、イランがホルムズ海峡を封鎖したことを受けて、原油高によるインフレ再燃懸念が高まり、利回りが上昇（価格は下落）しました。中旬以降もイランによるホルムズ海峡の封鎖継続や、米国が海兵遠征部隊を中東に派遣する方針との報道がなされたことで、衝突の激化、長期化が懸念され、利回りが上昇（価格は下落）しました。

上記のような投資環境の下、2025年12月末から2026年3月末の米国国債、米国政府系住宅ローン担保証券、米ドル建て投資適格社債の価格は以下のようになりました。

債券種別の当四半期騰落率（米ドルベース）

米国国債	米国政府系住宅ローン担保証券	米ドル建て投資適格社債
-0.04 %	0.4 %	-0.5 %

債券種別パフォーマンス推移（米ドルベース）



期間：2025年12月31日～2026年3月31日、日次、各資産のパフォーマンスは2025年12月31日を100として指数化使用したデータは、最終ページ「当資料で使用した指数等について」をご参照ください。

（出所）ブランディワイン・グローバル社の提供情報、ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

マザーファンドの運用経過と今後の運用方針

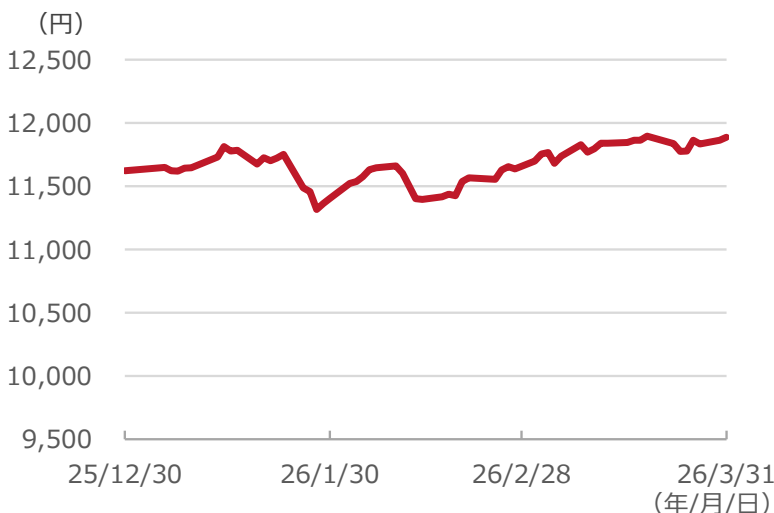
2025年12月30日から2026年3月31日までのマザーファンド（円ベース）のパフォーマンスは、+2.3%となりました。為替市場において米ドル高/円安が進行したこと、組入比率の高い米国国債がプラスのリターンとなったことなどが寄与しました。

米国債券市場を取り巻く環境は、足元では以前と比べて落ち着きを取り戻しつつあるものの、運用を行なう上での難易度はむしろ高まっていると考えています。景気減速の兆しが見え始める中で、中東情勢の緊迫を背景としたエネルギー価格の上昇がインフレ圧力を強めているためです。ただし、労働市場の過熱感がそこまで強くないことや、家計に積み上がっていた余剰資金が減少していることなどを踏まえると、賃金と物価が持続的に上昇し続ける可能性は限定的であり、急激な金利上昇が生じる可能性は低いと見ています。こうした環境下では、中長期的に米国債利回りには緩やかな上昇圧力がかかると考えると見ています。

上記の見通しを踏まえて、マザーファンドでは引き続き、信用力の高い米国国債および米国政府系住宅ローン担保証券を中心とした運用を行なう方針です。投資適格社債については、投資妙味が高まった銘柄を中心に選別的に投資する方針です。一方、ポートフォリオ全体としてはバリュエーション（投資価値評価）の改善が確認されるまでは引き続き慎重な姿勢を継続する考えです。デュレーションについては、市場環境に応じて機動的に調整する方針です。

中東情勢の緊迫化などを背景に、不確実性の高い市場環境が当面継続することが想定されますが、引き続き、独自のバリュエーション分析とマクロ経済分析の両面から投資機会を発掘し、積極的なデュレーション調整と、投資機会を捉えたバリュー投資を通じて、高い確信度に基づく投資を継続してまいります。

マザーファンドの パフォーマンス推移



期間：2025年12月30日～2026年3月31日、日次

(出所) ブランディワイン・グローバル社の提供情報、データを基に野村アセットマネジメント作成

マザーファンドの 平均デュレーションと債券種別配分の推移

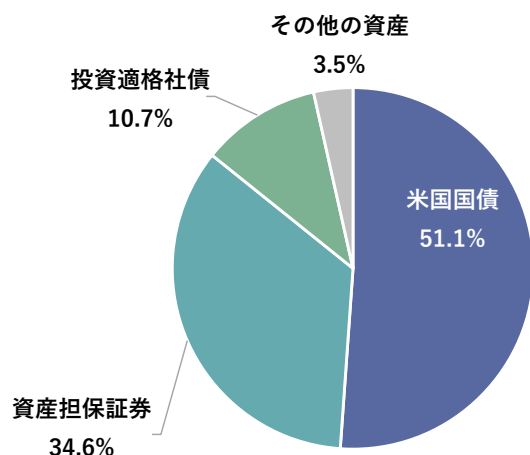
	2026年 1月末	2026年 2月末	2026年 3月末
平均デュレーション	2.8年	2.0年	4.1年
債券種別配分（純資産比）			
米国国債	73.3%	73.8%	51.1%
政府関連債	0.0%	0.0%	0.0%
資産担保証券	16.1%	15.4%	34.6%
投資適格社債	5.4%	5.6%	10.7%
その他の債券等	0.0%	0.0%	0.0%
その他の資産	5.2%	5.1%	3.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

• デュレーション：金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。

上記はファンドが投資対象とする「ブランディワイン米国債券戦略マザーファンド」の実績です。過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、資料作成時点のブランディワイン・グローバル社による見解であり、予告なく変更される場合があります。

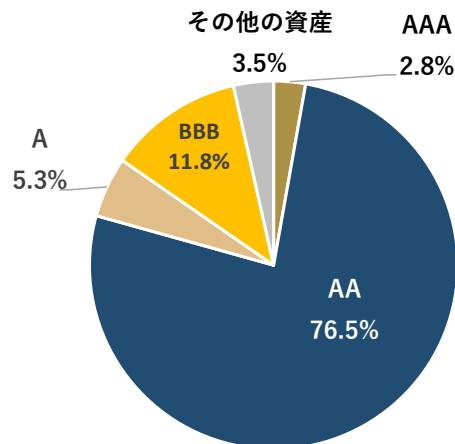
マザーファンドの資産内容（2026年3月31日現在）

債券種別配分（純資産比）



- ・ 上記はすべて米ドル建て債券。
- ・ 資産担保証券は住宅ローン担保証券や商業用不動産ローン担保証券を含みます。投資適格社債は格下げにより投機的格付となった銘柄も一部含む場合があります。
- ・ 格付は、S&P社、ムーディーズ社、フィッチ社による格付のうち、最も高い格付によります。格付がない場合はブランディワイン・グローバル社が同等の信用度を有すると判断した格付によります。
- ・ 四捨五入により合計が100%とならない場合があります。

格付別配分（純資産比）



ポートフォリオ特性値

平均格付	AA
平均最終利回り	4.6%
平均デュレーション	4.1年
組入銘柄数	70銘柄

- ・ ポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等（現金を含む）の各特性値（最終利回り、デュレーション）を、その組入比率で加重平均したもの。現地通貨建。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。
- ・ 平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。
- ・ デュレーション：金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。

満期配分

残存年数	純資産比
1年未満	0.9%
1年～3年	30.6%
3年～5年	1.1%
5年～7年	0.3%
7年～10年	18.6%
10年～20年	7.3%
20年超	37.8%
その他の資産	3.5%
合計	100.0%

（出所）ブランディワイン・グローバル社のデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記はファンドが投資対象とする「ブランディワイン米国債券戦略マザーファンド」の実績です。過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(ご参考)年初来の運用経過、今後の見通しと運用方針

POINT

中東情勢を踏まえた今後の見通しと運用方針について

<年初来の運用経過>

中東情勢を巡り市場の不確実性が高まる中においても、当戦略は安定したパフォーマンスを維持しました。これは、事前に想定していた運用方針やリスク管理が有効に機能した結果であると考えています。

2025年12月末時点では、関税負担の軽減や財政支出の拡大に加えて、良好な金融環境を背景に米国経済は一定の底堅さが維持されると想定していました。また、インフレ率の上振れリスク等を注視し、当時市場が予想していたようなFRBによる利下げが、必ずしも継続的に実施されるとは限らないとの見方を持っていました。このため、デフレ抑制しつつ、米国国債を中心としたインカム獲得と、高い流動性の維持を基本方針としてきました。

投資適格社債については、スプレッド（利回り格差）がタイトな局面であったことから慎重な投資スタンスを維持しました。ただし、市場変動に応じて割安となった銘柄を中心に選別的に投資機会を見極め、機動的かつ柔軟にポートフォリオを構築しました。具体的には、2026年3月のスプレッド拡大を受けて、投資適格社債および資産担保証券を選別的に積み増しました。投資適格社債については慎重な投資スタンスを維持しているものの、投資妙味が高まった銘柄を中心に選別的に投資を行ないました。また、資産担保証券についても、相対的にスプレッド水準が魅力的な銘柄を精査し、投資を行ないました。

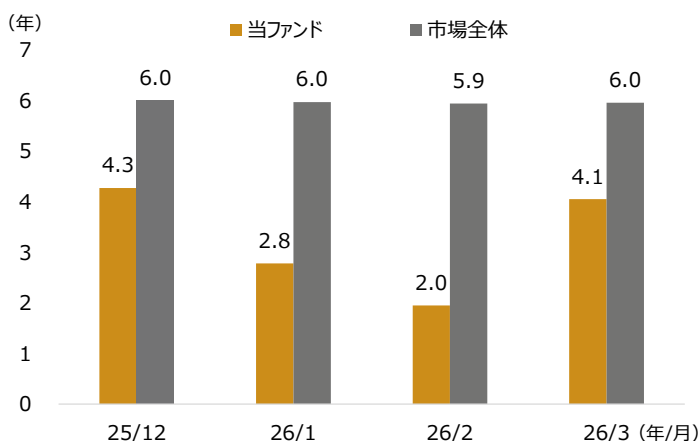
上記の通り、デフレ抑制し、投資適格社債について過度にリスクを取ることを避けながら、規律を重視した運用を継続していたところ、2026年3月のように中東情勢を巡って金利上昇およびスプレッド拡大が進んだ局面において、安定したパフォーマンスを実現することができました。

<今後の見通しと運用方針>

米国債券市場を取り巻く環境は、景気減速も懸念される中で、原油価格の動向次第では一時的にインフレ圧力がかかる可能性があり、マクロ環境が一段と複雑化しています。ただし、労働市場のひっ迫度合いはそこまで強くなく、家計の余剰資金がすでに減少していることなどを踏まえると、急激な金利上昇に発展するリスクは限定的と見ています。

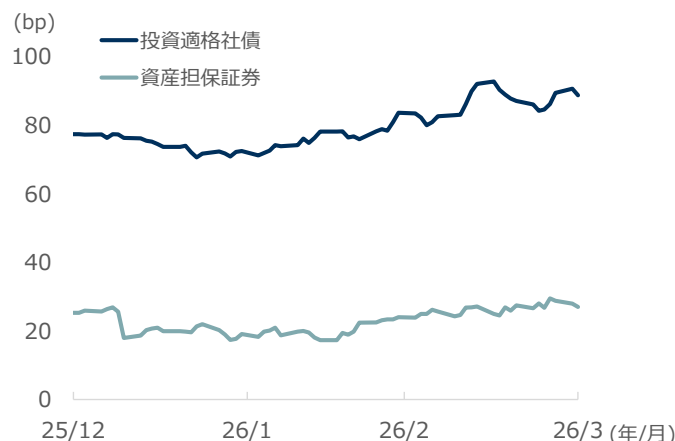
こうした市場環境を踏まえて、足元はインカム、流動性、バリュエーションを重視して運用すべき局面であると考えています。また、デフレ抑制については、引き続き機動的な対応が必要と考えています。投資適格社債については、バリュエーションが改善されるまで抑制的な姿勢を維持する方針です。このように、下方リスクへの耐性を意識しつつ、市場の調整などにより良好な投資機会が生じる局面において、機動的にリスクを取れるような運用を行なう方針です。

デフレ抑制の推移



期間：2025年12月末～2026年3月末、月次
当ファンド：ブランディワイン米国債券戦略マザーファンド
市場全体：ブルームバーグ米国総合インデックス

スプレッドの推移



期間：2025年12月末～2026年3月末、日次
投資適格社債：ブルームバーグ米国投資適格社債インデックス
資産担保証券：ブルームバーグ米国証券化商品（MBS/ABS/CMBS/カバード債）インデックス

(出所) ブランディワイン・グローバル社の提供情報、ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
資料作成時点のブランディワイン・グローバル社の見解であり、予告なく変更される場合があります。

- 1 **米ドル建ての公社債（国債、社債、モーゲージ証券等）（以下「米ドル建て公社債」といいます。）を実質的な主要投資対象※とし、安定した収益の確保と信託財産の成長を目標に運用を行ないます。**
※各ファンドは「ブランディワイン米国債券戦略マザーファンド」をマザーファンドとするファミリーファンド方式で運用します。「実質的な主要投資対象」とは、マザーファンドを通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 2 **ポートフォリオの構築にあたっては、トップダウンのマクロ分析および定量モデル等を活用したバリュエーション分析に基づき、ポートフォリオのデュレーションおよび債券種別の配分を決定します。**
- 3 **マザーファンドの運用にあたっては、ブランディワイン・グローバル・インベストメント・マネジメント・エルエルシーに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。**
- 4 **「ブランディワイン米国債券戦略ファンド（為替ヘッジあり）」は原則として為替ヘッジを行ない、「ブランディワイン米国債券戦略ファンド（為替ヘッジなし）」は原則として為替ヘッジを行ないません。「為替ヘッジあり」「為替ヘッジなし」間でスイッチングができます。**
* 販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- 5 **原則、毎年1月および7月の28日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。**

分配金は投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

当ファンドの投資リスク

ファンドのリスクは下記に限定されません。

各ファンドは、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

《基準価額の変動要因》 基準価額の変動要因は下記に限定されるものではありません。

◆債券価格変動リスク

債券（公社債等）は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。ファンドは実質的に債券に投資を行ないますので、これらの影響を受けます。特にファンドの実質的な投資対象に含まれるモーゲージ証券等の価格は、期限前償還（元本の一部が満期前に償還されること）の影響も受けます。期限前償還によるモーゲージ証券等の価格変動は、各証券の種類や特性によって様々であり、一様ではありません。

◆期限前償還リスク

ファンドが実質的に投資するモーゲージ証券等は、一般的に担保となっているローン債権等がいつでも繰上げ返済され得るため、期限前償還が発生します。また、一般的に金利が低下すると、ローン債権等の借り換えの発生が増加するため、期限前償還も増加する傾向があります。

期限前償還によってファンドが実質的に受取る償還金を再投資する場合の利回り水準は、一般的に期限前償還が生じなければ得られた利回りよりも低くなると考えられます。

ファンドがこれらの証券に元本を上回る価格で実質的に投資した場合、期限前償還により、当該証券の元本超過額を限度として損失が生じる場合があります。

◆為替変動リスク

「為替ヘッジなし」は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行ないませんので、為替変動の影響を受けます。「為替ヘッジあり」は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本としますが、為替変動リスクを完全に排除できるわけではありません。また、円金利がヘッジ対象通貨の金利より低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかるため、基準価額の変動要因となります。

お申込みメモ

● 信託期間	無期限（2024年2月16日設定）	
● 決算日および収益分配	年2回の毎決算時（原則、毎年1月および7月の28日（休業日の場合は翌営業日））に、分配の方針に基づき分配します。	
ご購入時	● ご購入価額	ご購入申込日の翌営業日の基準価額
	● ご購入代金	販売会社の定める期日までにお支払いください。
	● ご購入単位	ご購入単位は販売会社によって異なります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金時	● ご換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額
	● ご換金代金	原則、ご換金申込日から起算して6営業日目から販売会社でお支払いします。
	● ご換金制限	大口換金には制限を設ける場合があります。
その他	● スwitching	「為替ヘッジあり」「為替ヘッジなし」間でSwitchingが可能です。 * 販売会社によっては、Switchingのお取扱いを行なわない場合があります。
	● お申込不可日	販売会社の営業日であっても、お申込日当日が以下のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、Switchingの各お申込みができません。 ・ニューヨークの銀行 ・ニューヨーク証券取引所

課税関係	個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時（Switchingを含む）および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA（少額投資非課税制度）の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。ファンドはNISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
------	---

※お申込みの際には投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

当ファンドに係る費用

（2026年5月現在）

● ご購入時手数料	ご購入価額に 2.2%（税抜2.0%）以内 で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 <Switching時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 * 販売会社によっては、Switchingのお取扱いを行なわない場合があります。
● 運用管理費用（信託報酬）	ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。 純資産総額に 年1.298%（税抜年1.18%） の率を乗じて得た額
● その他の費用・手数料	ファンドの保有期間中に、その都度かかります。 （運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。） ・ 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・ 外貨建資産の保管等に要する費用 ・ 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ ファンドに関する租税 等
● 信託財産留保額（ご換金時、Switchingを含む）	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様はファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

当資料について

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

お申込みの際のご留意事項

● ファンドは、元金が保証されているものではありません。● ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。● 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。● 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。● **お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。**

当資料で使用した指数等について

米国国債：ブルームバーグ米国国債インデックス、米国政府系住宅ローン担保証券：ブルームバーグ米国MBSインデックス、米ドル建て投資適格社債：ブルームバーグ米国投資適格社債インデックス

● 「Bloomberg®」は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limitedをはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）の商標およびサービスマークです。ブルームバーグまたはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社 ● ホームページ

● サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時 <https://www.nomura-am.co.jp/>



お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は

設定・運用は

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

商号：三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人資産運用業協会／
一般社団法人金融先物取引業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会／
一般社団法人日本STO協会

NOMURA

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会